



～世界糖尿病デー 2026～
第194回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第233回 I I D E S 糖尿病研究会
第168回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2026年11月21日(土) 14:00～17:15
場 所 : 神戸商工貿易センター 26階 第1会議室
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム :

14:00～14:30 (座長: 富永 洋一 社会医療法人 愛仁会 総合健康センター 所長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

基礎講座 21. 『症例から学ぶ低血糖対策』

兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科 芳野 啓 先生

14:30～14:45 大正製薬株式会社 一情報提供—

14:45～16:00 (座長: 富永 洋一 社会医療法人 愛仁会 総合健康センター 所長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

講演 1. 『小児肥満症・2型糖尿病をどう診るか—成人期を見据えた早期介入—』

日本赤十字社 姫路赤十字病院 小児科

第一小児科副部長 松本 真明 先生

16:00～17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演 2. 『高齢糖尿病患者の不眠症治療—転倒と血糖を見据えた薬剤選択—』

加古川中央市民病院 精神神経科 主任科部長

兼 認知症疾患医療センター長 大谷 恭平 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信によりハイブリッド講演会になります。

② 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参 加 費 : 2,000 円

(2) 申 込 方 法 : 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加 or 会場参加、必要な単位申請先を明記の上、E-mail (パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ 更新のための認定単位が必要な方は Web 講習は対象外です。また、日病薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局 : 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO-IDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-iides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 基礎講座: CC76・05単位、講演1: CC76・1単位、講演2: CC20・1単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 日病薬学認定制度 V-2・2単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
大正製薬株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は11月19日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
 2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
 3. 当日オンライントラブル連絡先：大正製薬株式会社 窓口 高津 (TEL:090-5997-7279)
- ※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、受講記録表を送付いたします。

一抄録一

基礎講座 21. 『 症例から学ぶ低血糖対策 』

芳野 啓 先生 兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科

低血糖は糖尿病治療における重要な課題であり、特に重症低血糖は患者の生命や生活の質に大きく影響する。本講演では、持続血糖測定器(CGM)装着下でも重症低血糖を繰り返した1型糖尿病患者症例を提示し、腎機能、身体活動、インスリン治療など低血糖を引き起こす要因を整理する。さらに、CGMのアラート機能やデータ共有、インスリン調整、グルカゴン製剤などの具体的な対策を取り上げ、多職種で低血糖を予防するための治療支援について考える。

講演 1. 『 小児肥満症・2型糖尿病をどう診るかー成人期を見据えた早期介入ー 』

松本 真明 先生 日本赤十字社 姫路赤十字病院 小児科 第一小児科副部長

小児肥満は単なる体格の問題ではなく、インスリン抵抗性、脂質異常症、高血圧、脂肪肝などを伴い、若年発症2型糖尿病の基盤となる。若年発症2型糖尿病ではβ細胞機能の低下が速く、早期から合併症を生じる可能性があるため、適切な介入が重要である。近年、小児肥満症・若年2型糖尿病に対する治療選択肢が拡大している。本講演では、小児肥満や小児期発症2型糖尿病の評価、生活介入、薬物療法および成人診療への移行について、小児2型糖尿病に対して適応追加となったルセオグリフロシンを含め、代表的なエビデンスを交えて概説する。

講演 2. 『 高齢糖尿病患者の不眠症治療ー転倒と血糖を見据えた薬剤選択ー 』

大谷 恭平 先生 加古川中央市民病院 精神神経科 主任科部長 兼 認知症疾患医療センター長

高齢糖尿病患者の「眠れない」は、睡眠薬の追加で応える前に、夜間頻尿・夜間低血糖・疼痛・併用薬・生活リズムなど睡眠を分断する背景因子の評価が必要である。本講演では、転倒・認知機能・せん妄という高齢者特有のリスクを踏まえ、ベンゾジアゼピン系・Z薬の整理と出口戦略、オレキシン受容体拮抗薬やメラトニン受容体作動薬を含む薬剤選択の考え方を、実臨床に即して概説する。糖尿病診療に携わる医師・医療スタッフが、翌日から高齢者の不眠に安全に対応できることを目指す。

◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

- 三ノ宮駅(JR) 三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線)
下車徒歩10分
- 三宮花菱橋前駅(市営地下鉄海岸線) 下車徒歩5分
- 三宮駅(ポートライナー) 貿易センター駅下車すぐ

